

## 令和5年度 社会科 授業改善推進プラン

大田区立都南小学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・学習したことを新聞やポスター、スライドにまとめることで、学習したことの定着を図ることができた。
- ・資料やグラフを正しく読み取る学習を繰り返したことで、情報を活かして自分の考えを書いたり話したりする児童が徐々に増えている。
- ・4、5、6年生では、本校独自の都道府県検定・県庁所在地検定の実施により、都道府県の名称や地図上の位置を正確に覚えることができた。

#### (2) 課題

- ・中学年、高学年ともに、社会的事象について、自らの生活と関連付けながら考えることに課題が見られる。
- ・世界の国々の名前や位置を覚えることに課題が見られる。
- ・グラフや地図など、複数の資料から複合的に情報を読み取り、自分の意見を述べることに課題が見られる。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第4学年	目標値を下回っている。	/	/
第5学年	目標値を上回っている。	ほぼ目標値と同じである。 (第4学年時)	/
第6学年	目標値よりもかなり下回っている。	目標値よりもかなり下回っている。 (第5学年時)	目標値より下回っている。 (第4学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・四方位や地図記号について理解している。</li> <li>・グラフの内容について正しく読み取っている。</li> <li>・火事や交通事故が起きたときの体制の理解について課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料やグラフを比較したり、変化を読み取ったりすることができる。</li> <li>・読み取ったことを説明したり、他の事象と関連付けさせたりすることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習には進んで取り組んでいるが、自身の経験と結び付けて考えることや興味をもって調べ続けることに課題が見られる。</li> </ul>

## ② 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生は、ごみ処理と利用について定着が見られた。一方、既習の学習でも、場所が琵琶湖や広島県など新たに聞く場所になると、誤答、無回答が多くなる傾向がある。</li> <li>6年生は、世界や日本の国土についての理解に課題が見られる。自動車工業については理解の定着が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5年生は、特色ある地域の様子について資料から読み取ることができる。</li> <li>6年生は、資料からデータを読み取ったり、社会事象と結び付けて自分の考えを表現したりすることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近なことや関心のあることについては興味をもって調べることができる。</li> <li>社会的事象から新たなについては関心が高い一方、学んだ知識を自らの生活に結び付けて考えることには課題がみられる。</li> </ul>

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>体験的な学習を多く取り入れ、自分の住む地域（街・大田区・東京都）の地図上の位置や社会的事象を捉えさせ、正確な知識・理解に繋げる。都道府県・県庁所在地検定に向けて地図上で名称・位置を繰り返して指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の住む地域（街・大田区・東京都）の社会的事象から、自分の考えをもち、表現できるような課題を設定する。グラフや図、地図などの資料から特色を見出し、考察する機会を多く設ける。児童間の話し合いの機会を設定し、学び合いの場を設ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTで動画や資料を提示したり、新聞、ニュースなどの話題を取り上げたりして、社会的事象に興味・関心をもたせるような導入を実施する。</li> <li>学習のまとめや見学の振り返りには、新聞作成を行い、自分の考えを書かせるようにする。</li> </ul>

### (2) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と関係の深い世界の主な国々の国旗や位置を、世界地図や地球儀を利用して継続的に指導する。</li> <li>既習事項を取り上げながら学習を進め、積み上げてきた知識・技能を確認する機会を多く作る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調べたことをもとに、その内容をまとめたり考えを述べたりする活動を意図的に取り入れる。</li> <li>学習した内容を身の回りの様々な事象と結び付けてとらえたり考えたりできるように、既習の学習事項や他教科の学習内容、時事問題との関連などを意識できる発問、補助発問を取り入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の産業や歴史などは、なじみが薄かったり実感をともなって捉えたりしにくい児童がいる。視覚的に捉えられる写真や図表などの資料を的確に提示することでイメージを促し、学習意欲をもたせる。</li> <li>新聞やニュースの情報を共有し、生活との関わりを範囲を広げていく。</li> </ul>